

Presh-SPE&Smash-SPE

フィルター感覚で簡単精製

極限まで小型化した次世代型固相カートリッジ Presh-SPE。
最細カラム構造により固相機能を発揮。約300円/個コスパ良。
Smash-SPEを連結可能でマルチな相互作用を
カスタマイズできます。使用溶媒量も数十～数百μL。



製品名		簡易精製 お試しキット	簡易精製 お試しキット (2連結用)
型番		SS-5040-060	SS-5040-061
内訳		13,200円	15,500円
①	Presh-SPE ※下記よりご選択ください	10個	10個
②	Smash-SPE ※下記よりご選択ください	-	10個
③	ピペット用チップボックス (固相抽出台)	1個	1個
④	ルアーチップシリンジ1mL	2本	2本



【固相カートリッジラインナップ】

相互作用	固相種類	基材	官能基	Presh-SPE	Smash-SPE	価格(税抜、円)
				型番	型番	100個入
逆相	C18	シリカゲル	オクタデシル	SA-5110-003	SA-6110-003	29,800
	BEP	ポリマー	スチレンジビニルベンゼン	SA-5410-003	SA-6410-003	29,800
	PBX	ポリマー	スチレンジビニルベンゼン親水性/疎水性	SA-5260-003	SA-6260-003	29,800
順相	SI	シリカゲル	シラノール	SA-5160-003	SA-6160-003	29,800
	FL	シリカゲル	フロリジル	SA-5140-003	SA-6140-003	29,800
	AL	アルミナ	アルミナ	SA-5610-003	SA-6610-003	29,800
陽イオン交換	SCX	シリカゲル	強陽イオン交換/ベンゼンスルホニルプロピル	SA-5123-003	SA-6123-003	29,800
	CXs	ポリマー	強陽イオン交換/スルホン酸	SA-5585-003	SA-6585-003	29,800
	WCXs	ポリマー	弱陽イオン交換/カルボン酸	SA-5577-003	SA-6577-003	29,800
陰イオン交換	SAX	シリカゲル	強陰イオン交換/トリメチルアミノプロピル	SA-5122-003	SA-6122-003	29,800
	AXs	ポリマー	強陰イオン交換/四級アミン	SA-5581-003	SA-6581-003	29,800
	WAXs	ポリマー	弱陰イオン交換/エチレンジアミン	SA-5573-003	SA-6573-003	29,800
順相・弱陰イオン交換	PSA	シリカゲル	N-プロピルエチレンジアミン	SA-5120-003	SA-6120-003	29,800
	NH2	シリカゲル	アミノプロピル	SA-5121-003	SA-6121-003	29,800
陽・陰イオン交換積層	ACXs	ポリマー	CXs（上）とAXs（下）の積層	SA-5589-003	SA-6589-003	33,800

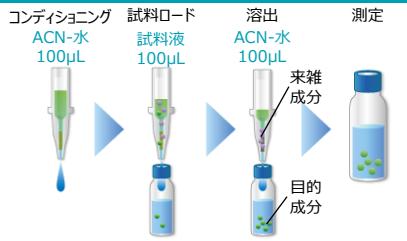
※関連製品：ルアーチップシリンジ1mL SB-4010-006 入数100本 7,000円

Presh-SPE/Smash-SPE 使用例

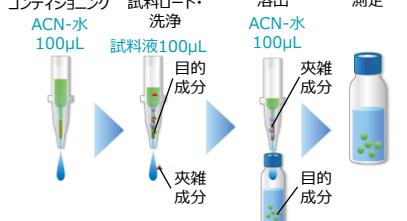
連結構造

カートリッジはアダプターを用いなくても
容易に連結することが可能です。そのまま
連結が可能リザーバー、注射器
(従来の固相カートリッジなど)Presh-SPE
固相 (充填剤)
(C18, GCKなど)Smash-SPE
固相 (充填剤)
(PSA, SIなど)

精製 (パススルー)



保持(濃縮)・溶出



試料液のロード、溶出方法

Step1

ピペット

ピペットで試料液を
Presh-SPEカートリッジ
に注入します。

Step2

ルアーチップシリンジ

ルアーチップシリンジで
空圧で液を固相に
通します。

多検体同時処理型全自動固相抽出装置 ST-R100

【特徴】

- ・4検体同時処理のハイスループット
- ・パススルー、保持溶出のシンプルな固相抽出
- ・最細カラム構造Smash-SPEで固相機能を発揮
- ・固相カートリッジ2連結が可能
- ・使用溶媒量も数十～数百μL
- ・装置本体、固相カートリッジ(約300円/個)ともにお手頃価格でイニシャル・ランニングコストともにコスパ良

多検体自動固相抽出装置
ST-R100
for Smash-SPE



連結用
固相ミニカートリッジ
Smash-SPE

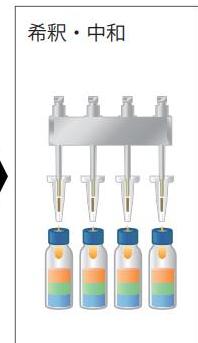
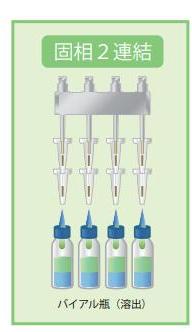
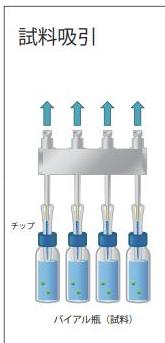


意匠登録

スルーモード

【夾雑成分を保持、目的成分をスルー】

目的成分をスルーサせ夾雑成分を固相に保持させて除去する。固相への保持が難しい成分なども分析可能。



保持モード

【目的成分を固相に保持、夾雑成分をスルーリムーブ】

目的成分を固相に保持して夾雑成分をスルーサせるため、精製効果が高い。溶出量、溶出溶媒を任意に変更できるため、溶出液中の試料濃度を調整して直接GCやLCで測定が可能。

